



御園だより

令和7年度4月号
大田区立御園中学校
校長 古川 大輔



生徒が主役の学び 安心して学べる御園中

本校の1年生94名、2年生106名、3年生96名、分教室である学びの多様化学校「みらい学園中等部」の1年生18名、2年生17名、3年生14名を合わせ、345名の生徒たちとともに新たな一歩を踏み出しました。通常の学級、学びの多様化学校、難聴学級、特別支援教室（サポートルーム）の生徒と教職員が一体となって、生徒にとって安心して学べる「多様な学び」をつくります。

○学校経営方針

本校の教育目標は、「自他を尊重する生徒を育てる」「進んで学ぶ生徒を育てる」「心身を鍛える生徒を育てる」「社会に貢献する生徒を育てる」の4つです。これらのエデュケーション・ポリシーを「共生」「自学」「健康」「創造」の言葉で表現しています。スクール・ポリシーとして「挨拶と笑顔が自慢の御園中」を掲げ、「生徒が主役の学び」と「安心して学べる御園中」づくりに重点を置いた教育活動に取り組んでまいります。

○課題を解決する力、新たな価値を創造する力の育成

学校の「顔」である3年生を中心に、生徒が「自ら学び、考え、主体的に行動する」教育活動の充実を目指します。そして、生徒たちが「御園中学校に入学してよかった」と心から思える学校づくりを進めてまいります。本校は、大田区教育委員会の教育研究推進校、「おおたの未来づくり」研究実践校の指定を受けています。総合的な学習の時間を中心に「キャリア探究」の探究学習を進め、こどもたちの「課題を解決する力」「新たな価値を創造する力」を育くむ探究的な学び、教科等横断的な学びの研究・実践に取り組みます。また、大田区教育委員会のこどもの「生きる力」をはぐくむプログラム事業実施校の指定を受けることができました。「生徒会・自治部の活動」など特色ある教育活動にも力を注いでいきます。さらに、「コミュニティ・スクール」学校運営協議会設置校として、持続可能な社会の創り手の育成及び地域社会に根差したウェルビーイングの向上を目指す、地域とともにある学校づくりを推進していきます。

○情報モラル、デジタル・シチズンシップ

こどもたちが使用するスマートフォン等によるいじめの認知を含む、SNS上のトラブルが発生しています。特にスマートフォン等を持ち始めたばかりで、使用に慣れていない生徒が、加害者、被害者、または、その両方の当事者になるケースも見られます。保護者の皆様には、お子様にスマートフォン等をご用意される場合は、必ず保護者の皆様の管理下での使用をお願いするとともに、ご家庭での使い方のご指導をお願いいたします。学校では、こどもたちがSNS上でのいじめの未然に防止できるよう話し合いを重ね、「御園SNSルール」を策定しています。ご家庭と学校とが連携して取り組んでいくことが大切です。全てのこどもたちが安心して学校生活を送れるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

こどもたちは、それぞれ発達の段階に応じて、さまざまに変化していきます。こどもの伸びる時期は一人ひとり異なります。保護者の皆様と学校とが共通理解のもとで、こどもたちの主体性を育み、自立を促していくことが、お子様の健やかな成長につながります。お子様のことでご心配なことや気になることがございましたら、どうぞ遠慮なく学校へご連絡ください。

本校ホームページ「Misono Diary」に生徒の活躍、活動の様子を掲載しております。右上のQRコードよりご覧いただけます。また、X公式アカウント「御園中 日々の出来事」を随時更新しております。